かなウェル

かなウェルの取扱説明書

ソフトウェアキーボード付きタブブラウザのかなウェルの操作説明を行います。

kabahandle

2011/11/05

目　　　次

第１章 かなウェルのインストール

第１節　インストールの前に

- かなウェルが Windows で動作するためには、以下のソフトウェアが必要です。

　・マイクロソフト製.NET フレームワーク４

なお、.NET フレームワーク４は、かなウェルの Zip ファイルに同梱しております。
「第３節　.NET フレームワーク４のインストール」をご覧になって、インストールされて下さい。

- かなウェルが動作することを作者が確認した Windows のバージョンと IE のバージョンは以下の通りです。

・Windows XP Proffessional 32bit サービスパック３とインターネットエクスプローラー８
・Windows7 Proffessional 64bit とインターネットエクスプローラー９

以上以外の環境では動作確認しておりませんが、基本的に WindosXP、Vista、７では動作するものと思います。

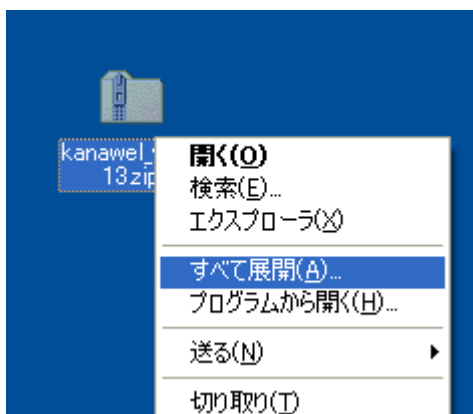
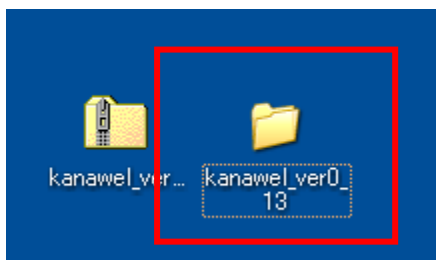
- 今回のバージョンから漢字変換に IE コンポーネントを使用しています。

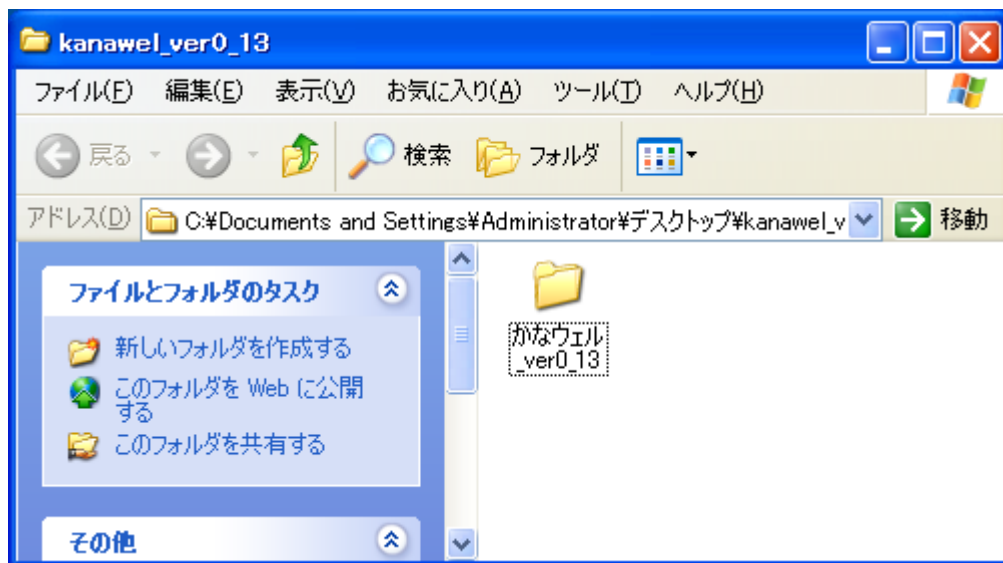
　WindowsXP では、漢字変換のたびにカチカチと音がする環境もあります。
　その場合は、申し訳ありませんが、メニュー->「変換」メニューから、漢字変換の種類を１種類だけにして、変換回数を減らしてください。
　初期設定では、１回の漢字変換時、４種４回の漢字変換機能を使っており、カチという音が４回なります。種類を１種類にすると、カチという音は１回だけになります
　なお、次バージョンからは漢字変換に IE コンポーネントを使うか、従来の方法を使うか選択できるようにする予定です。

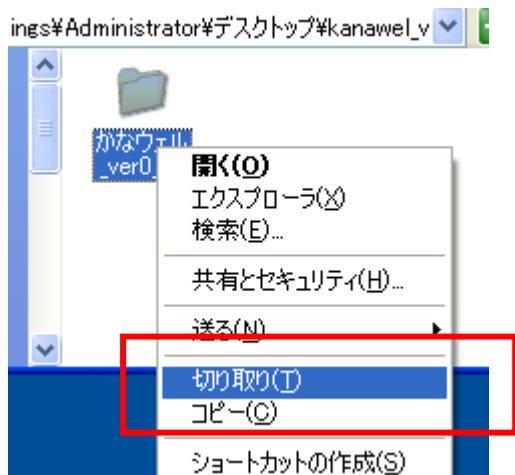
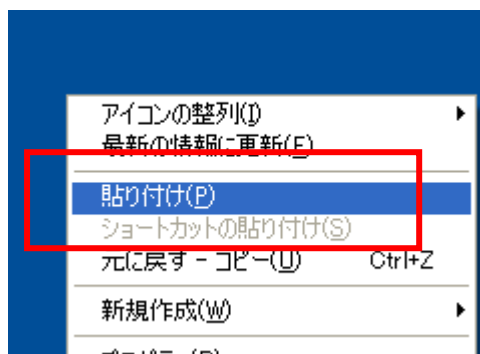
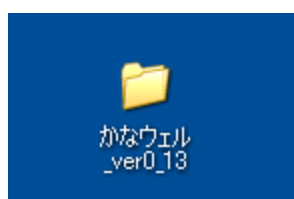
第２節　かなウェルの展開

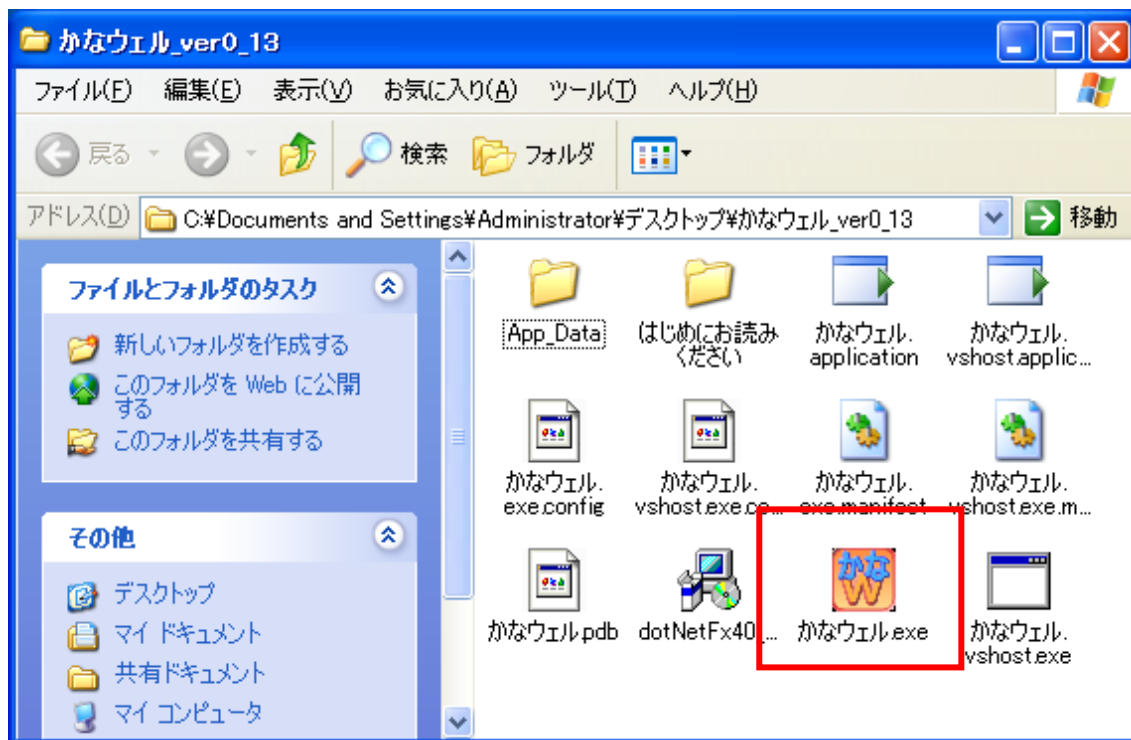
かなウェルを使えるようにします。

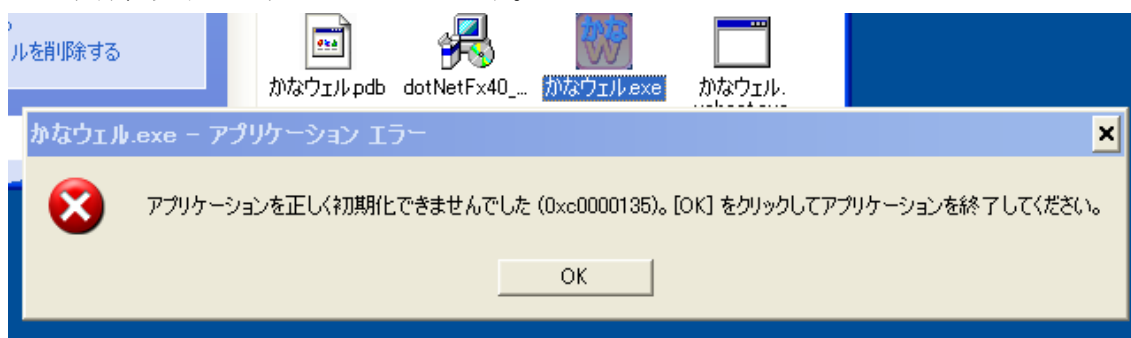
ダウンロードしたかなウェルの Zip ファイルは以下のようになります。

これを右クリックして、出てきたメニューから「すべて展開」をクリックします。
すると、かなウェルの Zip ファイルが解凍されてかなウェルのフォルダができます。

以下のようになります。右側がフォルダです。

ただ、実はもう一段階下のフォルダにかなウェルが入っています。
赤枠のフォルダをダブルクリックして確認しましょう。

フォルダを開くと、以下のように「かなウェル_ver0_13」というフォルダが入っていることがわかります。

これを右クリックして、「切り取り」をクリックし、お好きな場所に移動しましょう。
ここではデスクトップに置くことにします。

切り取り：

貼り付け：

結果：

これで準備は OK です。

補足ながら、「かなウェル_ver0_13」のフォルダをダブルクリックして、開いて中身を確認しましょう。

色々とファイルがありますが、赤枠の「かなウェル.exe」がかなウェルの実行ファイルです。かなウェルを起動するには、この赤枠の「かなウェル.exe」をダブルクリックします。

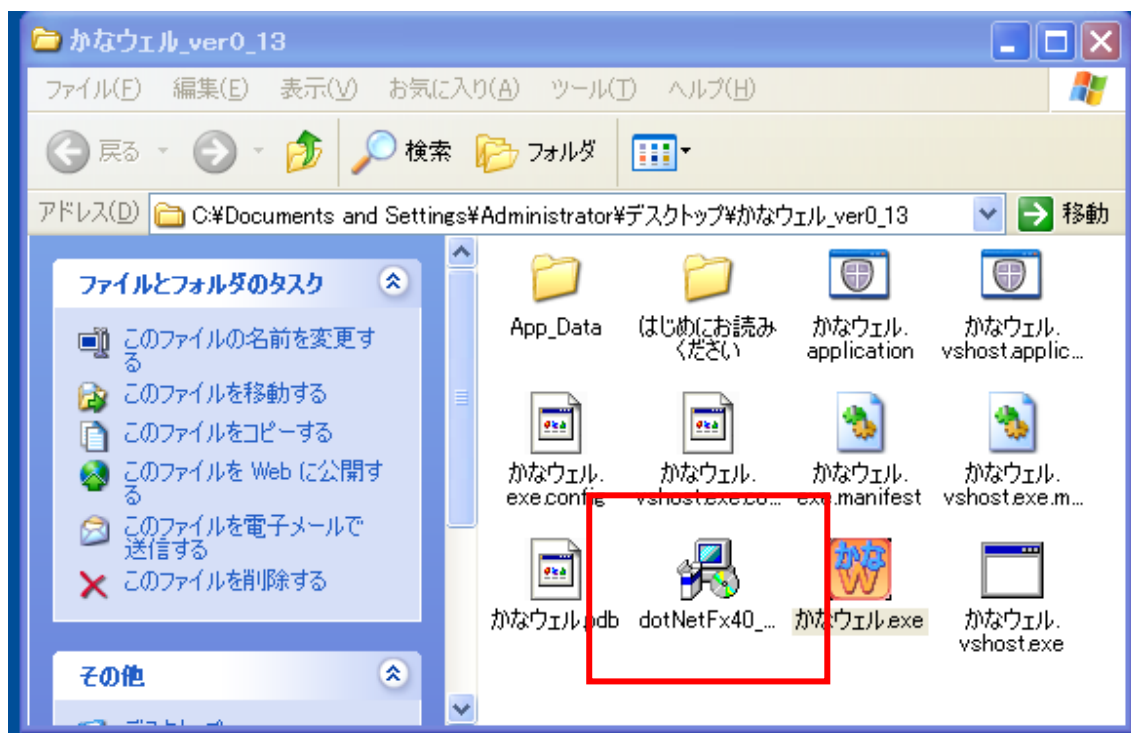
しかし、起動する前に、「.NET フレームワーク 4」がインストールされていないと、かなウェルは起動しません。
この場合、以下のようなエラーがでます。

では、次の節で.NET フレームワーク 4 をインストールしましょう。

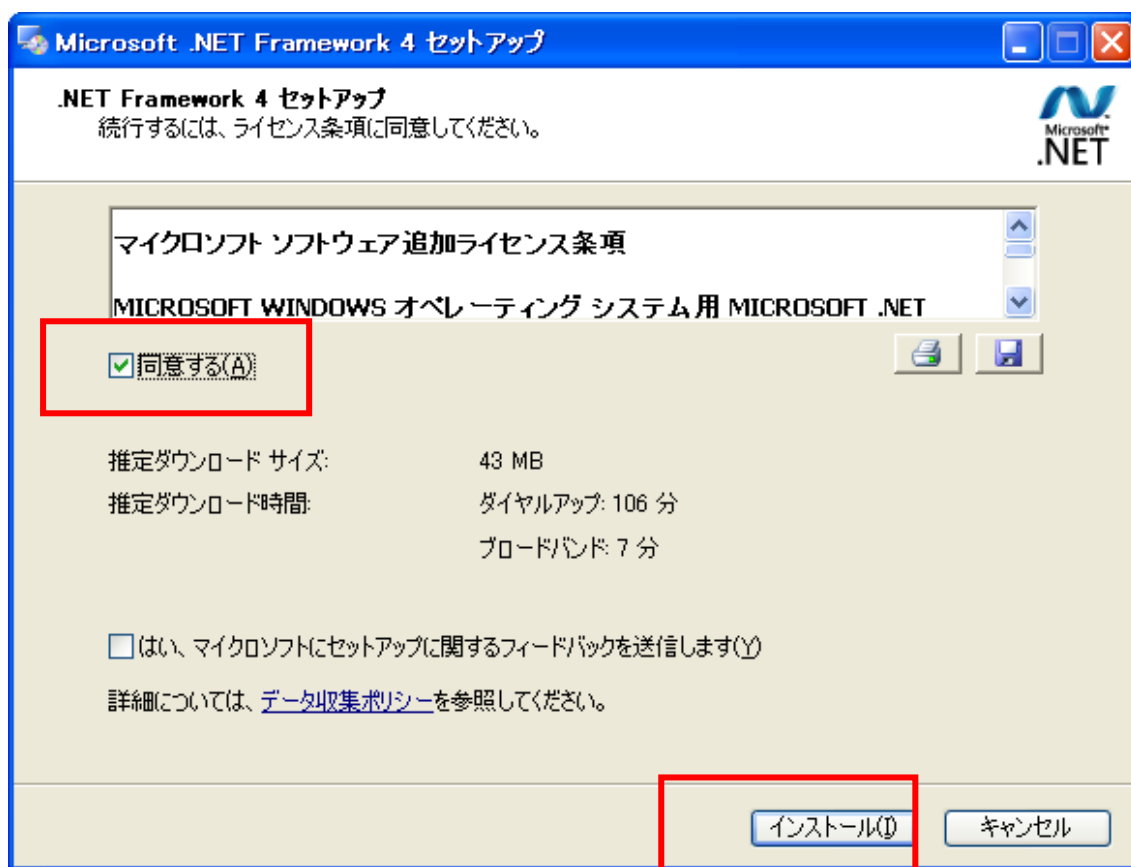
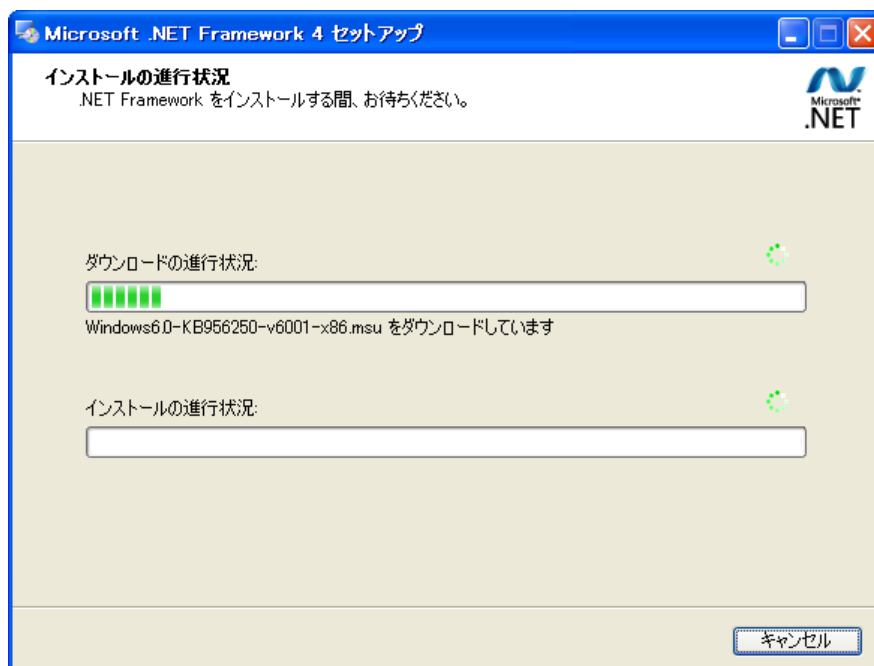
第３節　.NET フレームワーク４のインストール

- .NET フレームワーク４とは？

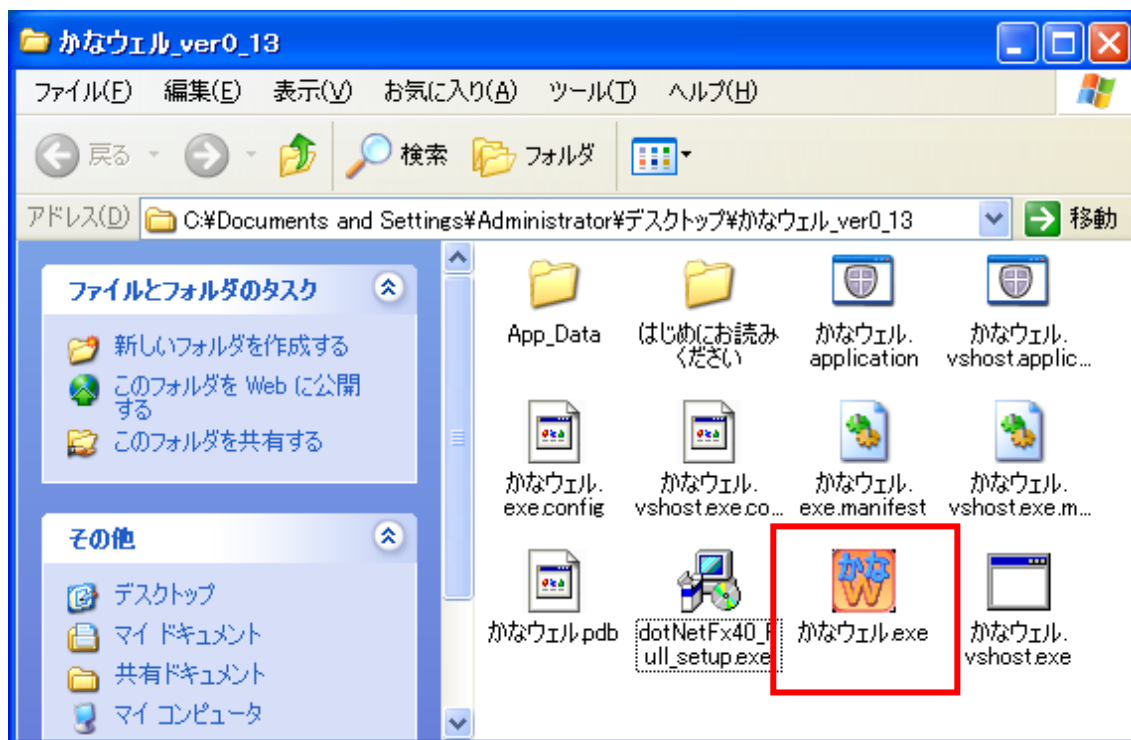
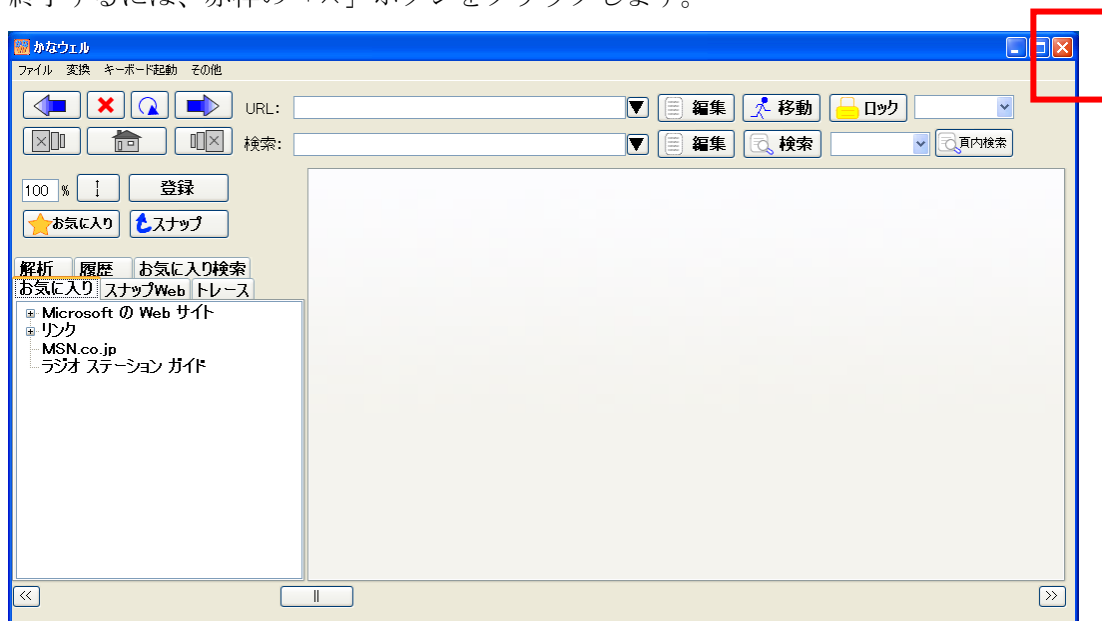
.NET フレームワーク４とは、Windows の制作会社であるマイクロソフトが、Windows で動くアプリを作りやすくするために配布している、ソフトウェア製品です。
製品といっても、無料で配布しています。
近年の Windows ソフトウェアの多くは、この.NET フレームワークを使って作成されています。
ソフトウェアが動作する時に、お使いのコンピュータにも.NET フレームワークが入っていないと、第 2 節のようなエラーが出て、ソフトウェアが動きません。

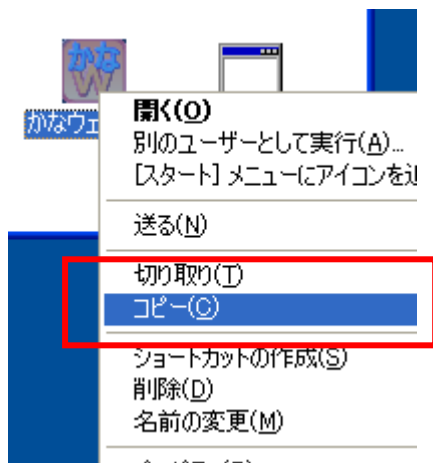
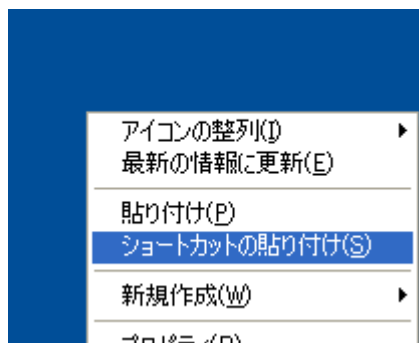
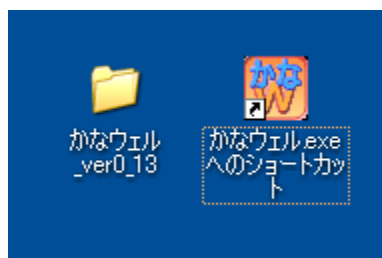
そこで、これから、.NET フレームワーク４をインストールしましょう。

かなウェルのフォルダに、「doNetFx40_...」というファイルがあります。
下図の赤枠のファイルです。

これが.NET フレームワーク 4 のインストーラーです。
これをダブルクリックします。

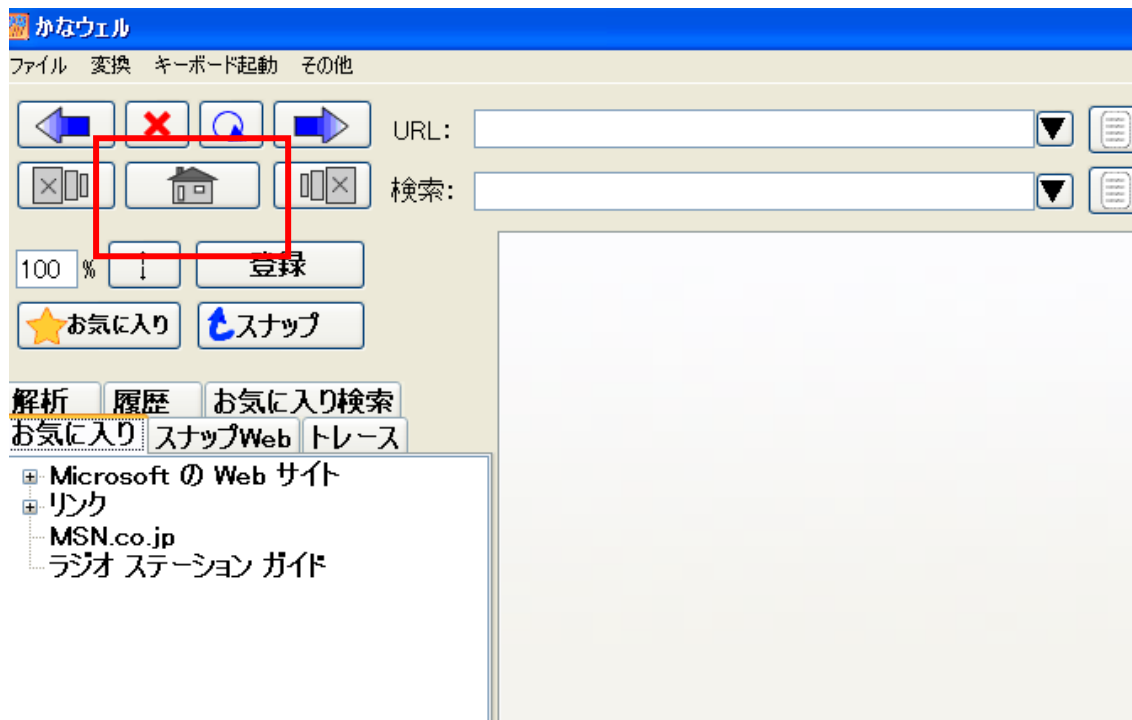
すると、以下のダイアログがでますので、「同意する」にチェックして、「インストール」をクリックします。

以下のような、進行画面になりますので、しばらく待ちます。

最後に以下の画面が出たら、インストール完了です。
赤枠の「完了」ボタンをクリックして終わります。

第４節　かなウェルの起動

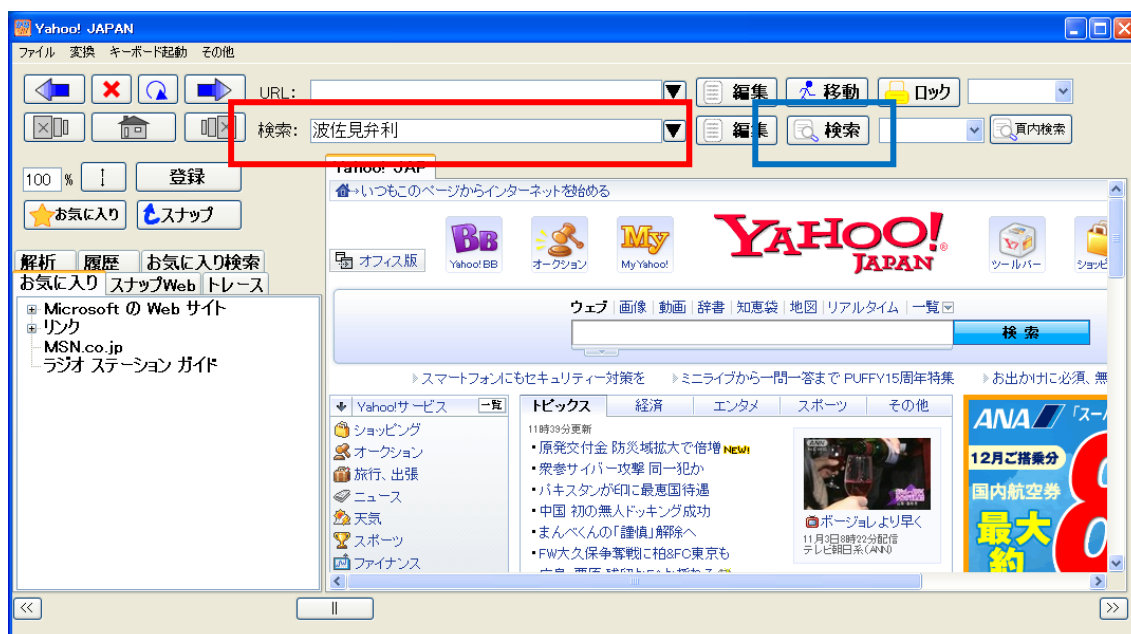
かなウェルを起動してみましょう。
赤枠の「かなウェル.exe」をダブルクリックします。

かなウェルが起動しました。
終了するには、赤枠の「×」ボタンをクリックします。

第５節　かなウェルのショートカットをデスクトップに配置

かなウェルの起動を簡単にするために、かなウェルのショートカットをデスクトップに作りましょう。
「かなウェル.exe」を右クリックして、「コピー」をクリックします。

デスクトップを右クリックして、「ショートカットの貼り付け」をクリックします。

以後はデスクトップの「かなウェル.exe へのショートカット」をダブルクリックするだけで、かなウェルが起動します。

第２章 かなウェルを使ってみよう

第１節　ホーム（家）ボタンをクリックして、Yahoo のホームページへ移動

かなウェルの左上にある赤枠の「家」のボタンをクリックすると、Yahoo のホームページが開きます。

Yahoo が開きました。

第２節　Google 検索してみよう

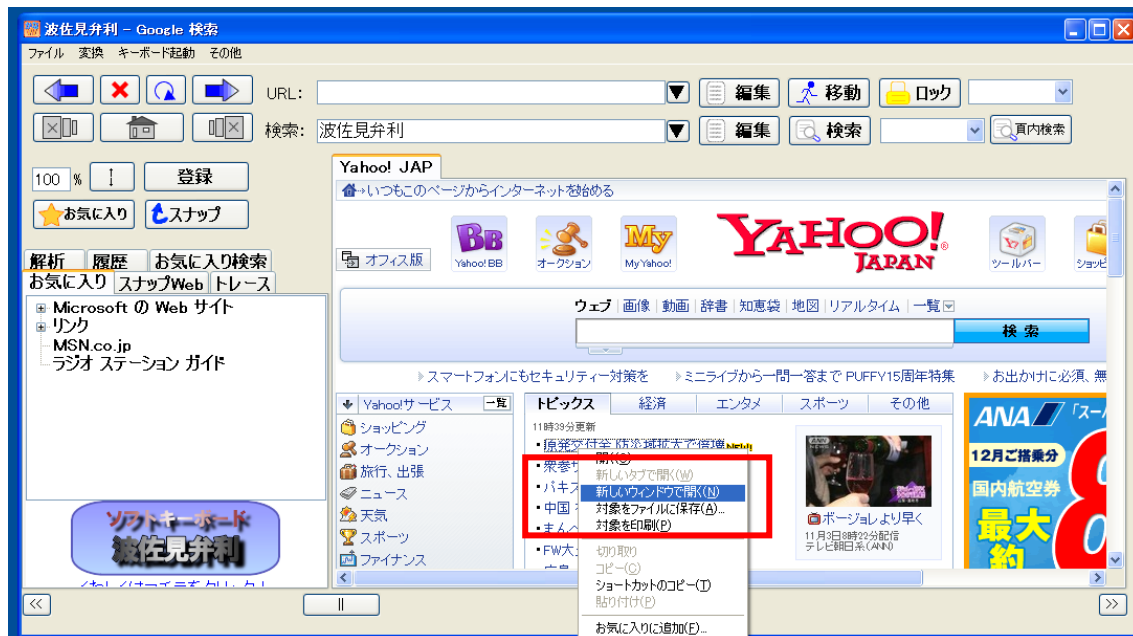
「検索：」入力ボックス（赤枠）に検索文字を入力して、「検索」ボタン（青枠）をクリックすると、新しいタブが開き、Google の検索結果が表示されます。

検索結果が新しいタブ（赤枠）に表示されました。

第３節　タブを消してみよう

タブの部分（赤枠）をダブルクリックすると、タブが消えます。

タブが消えました。

第４節　リンクを新しいタブで開いてみよう

リンクを右クリックし、「新しいウィンドウで開く」（赤枠）をクリックすると、新しいタブが開き、そこに表示されます。

リンク先が新しいタブに表示されました。

第５節　タブを左側一括削除してみよう

多く開いてしまったタブは一括削除できます。

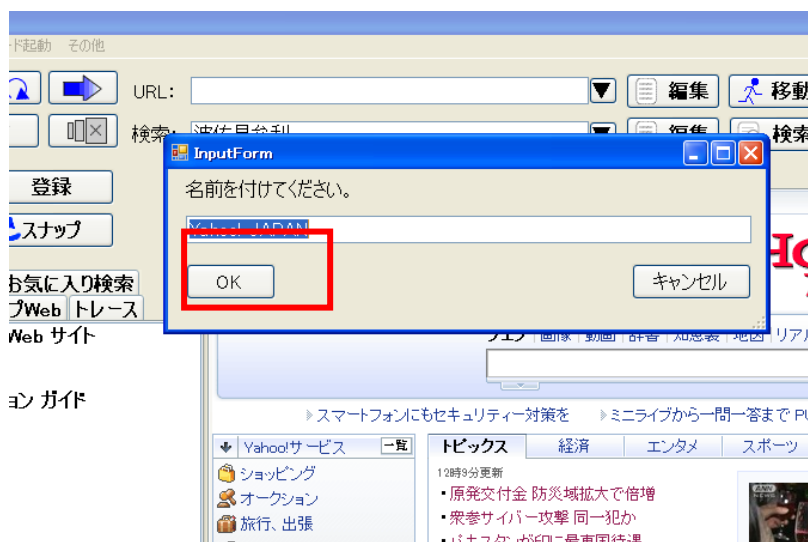
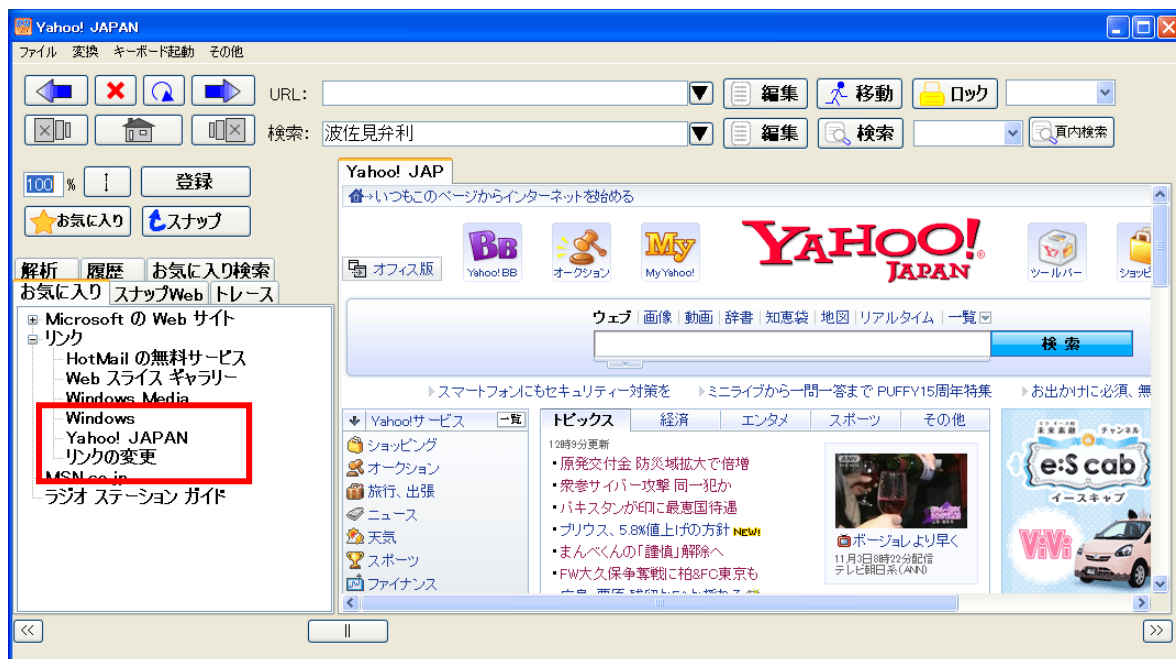
下図の赤枠のタブを開いた状態で、青枠のボタンをクリックします。

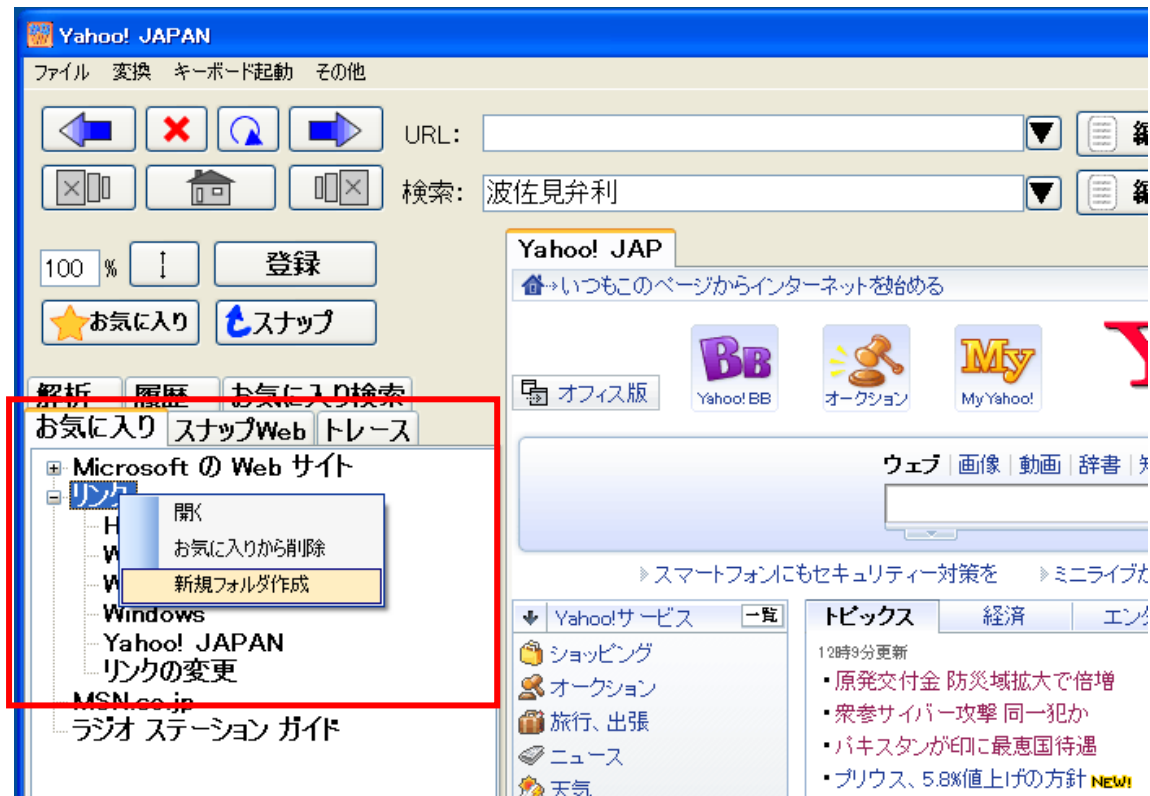
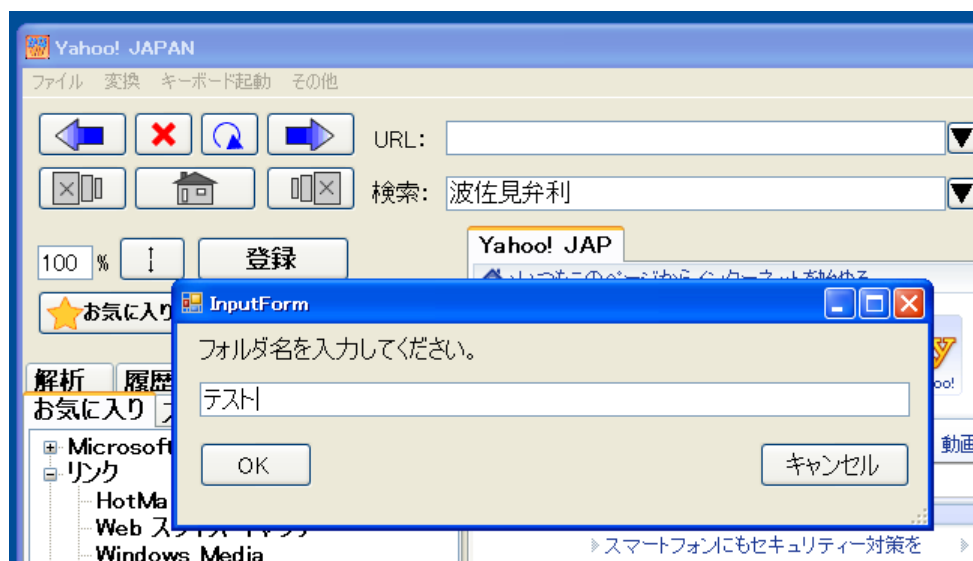
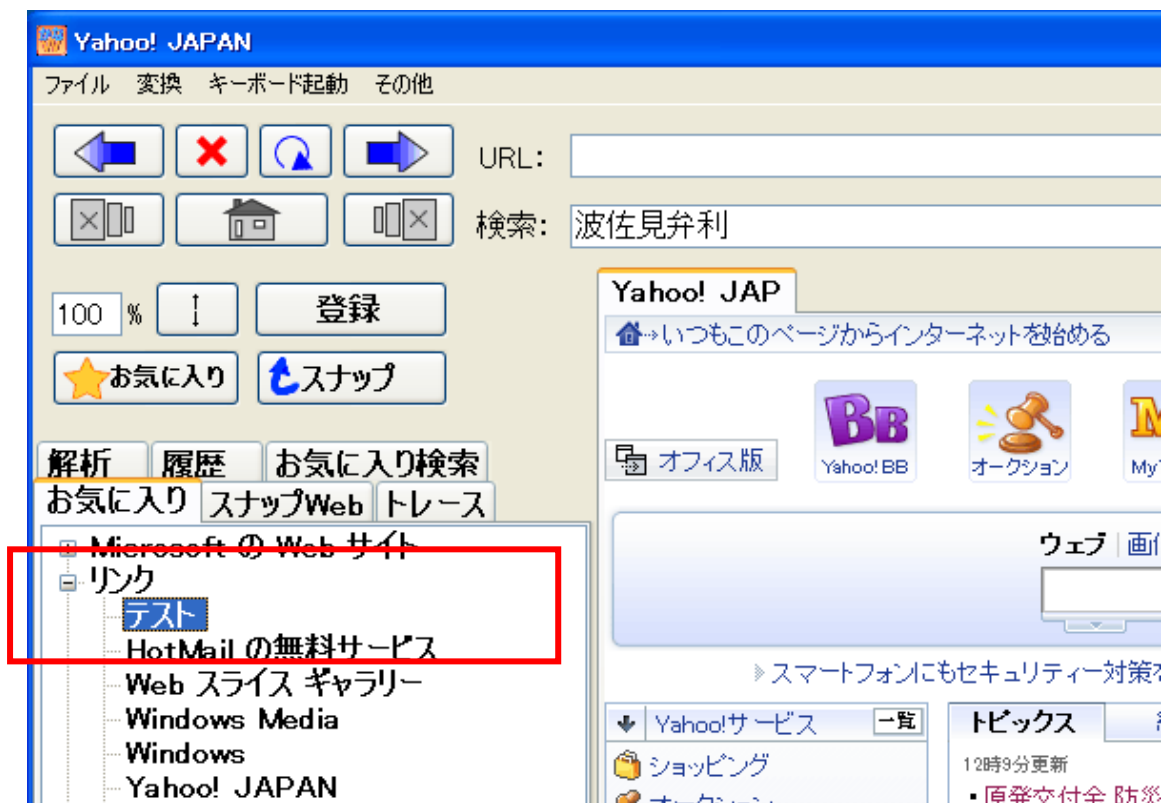
左側のタブが一括削除されました。

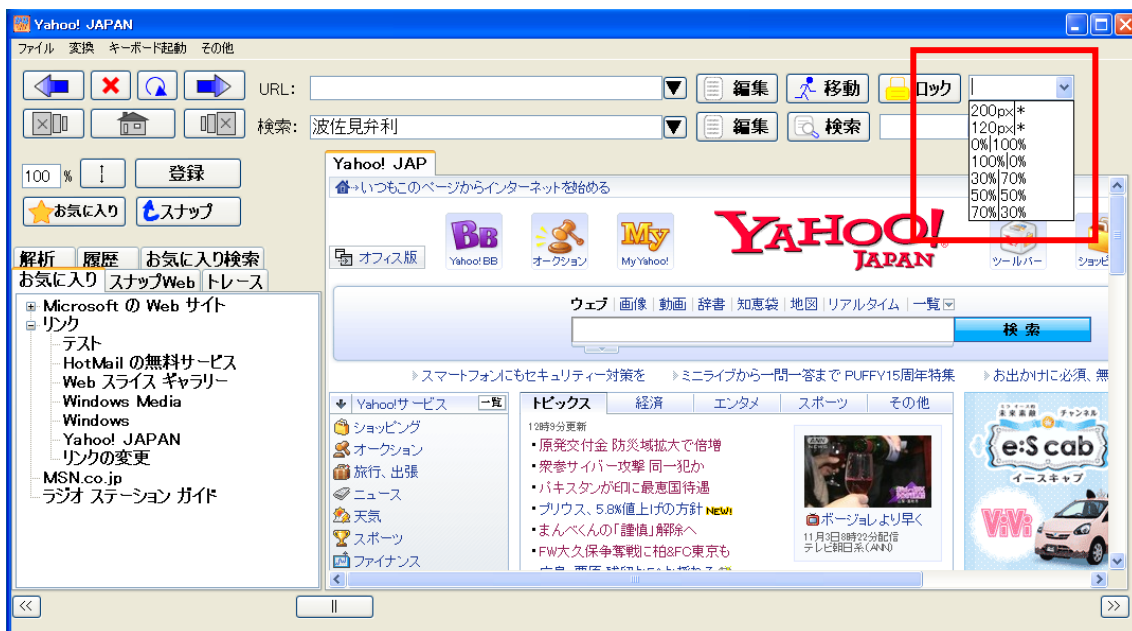
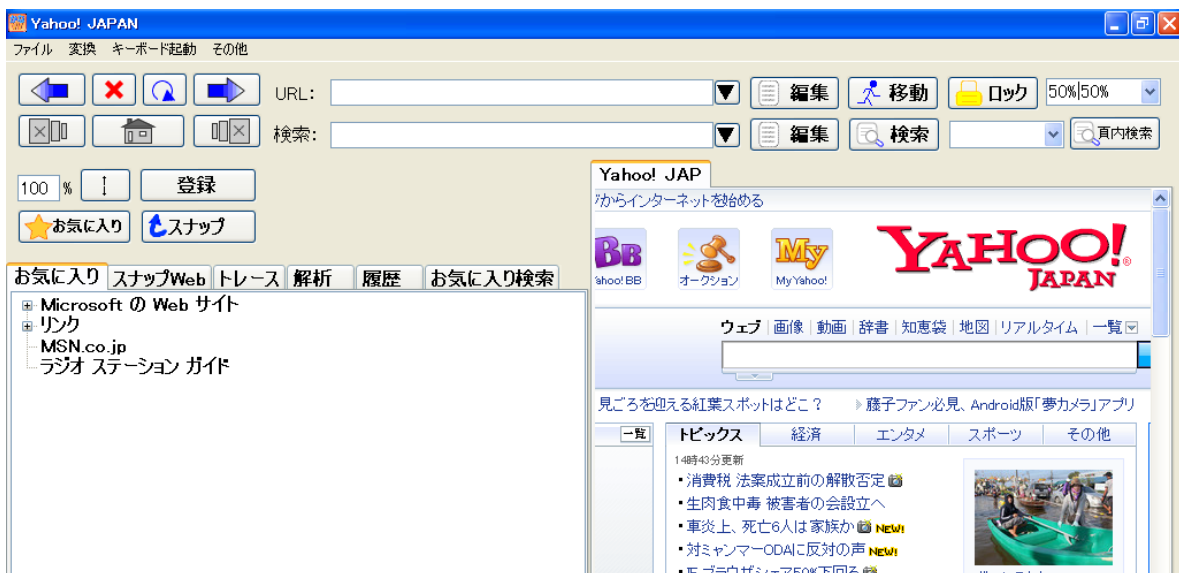
なお、下図の赤枠のボタンは右側一括削除ボタンです。

第６節　お気に入りにホームページを登録してみよう

お気に入りにホームページを登録するには、下図の赤枠のボタンをクリックします。

すると、以下のダイアログが出ますので、OK ボタンをクリックします。

「Yahoo！JAPAN」がお気に入りに登録されました。

第７節　お気に入りに新しいフォルダを作ってみよう

お気に入りを右クリックし、「新規フォルダ作成」をクリックします。

するとダイアログがでますので、フォルダ名を入力して OK をクリックします。

お気に入りに「テスト」フォルダができました。

第８節　画面分割サイズを変えてみよう

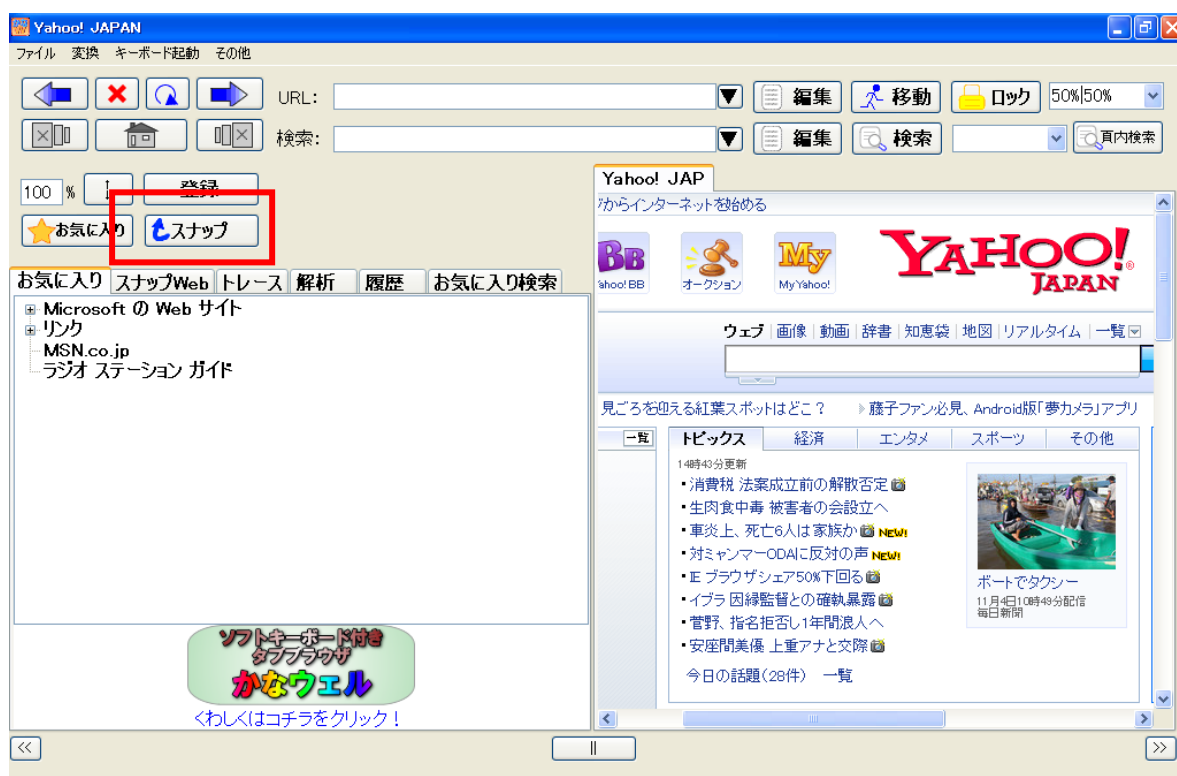
画面の赤枠のコンボボックスに画面分割を指定するところがあります。

コンボボックスで「50%|50%」を指定したら下図のようになります。

お気に入りと、Web 画面がちょうど半分半分になりました。

他にも、「30%|70%」や「70%|30%」などがあります。

「200px|*」の場合は、左側のお気に入りの幅が 200 ピクセルになり、右側の Web 画面がのこりいっぱいに広がります。

第９節　Web 画面を「スナップ」してみよう。～2 画面分割 Web 画面～

先ほどの画面分割で「50%|50%」の指定がありますが、なぜこのような画面分割をするのでしょうか。
答えは、Web 画面をスナップ（取る）して、左側にも Web 画面を開くことができるからです。

早速スナップしてみましょう。
以下の赤枠の「スナップ」ボタンをクリックしてみましょう。

すると左側の「スナップ Web」というタブに、Web 画面が出ました。

以下のように、左右別々の Web 画面を開くことができ、並んで比較できます。

第１０節　　　スナップを目次代わりにしよう

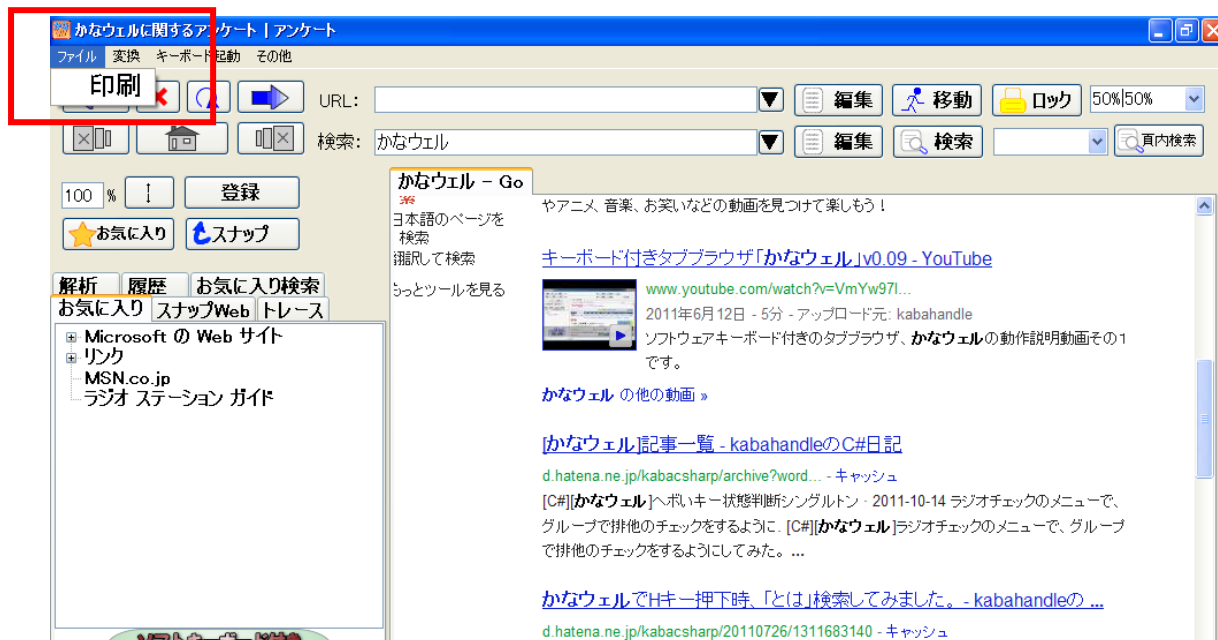
スナップした左側の Web 画面は少し特殊です。左側の Web 画面のリンクをクリックしてみて下さい。

すると右側に新しいタブが開き、リンク先がそこに表示されます。

下図では、左側のスナップ Web 画面に Google の検索結果を開き、各検索されたリンクのリンク先を右側のタブに表示しています。

このように、スナップした Web 画面は目次としても使用できます。

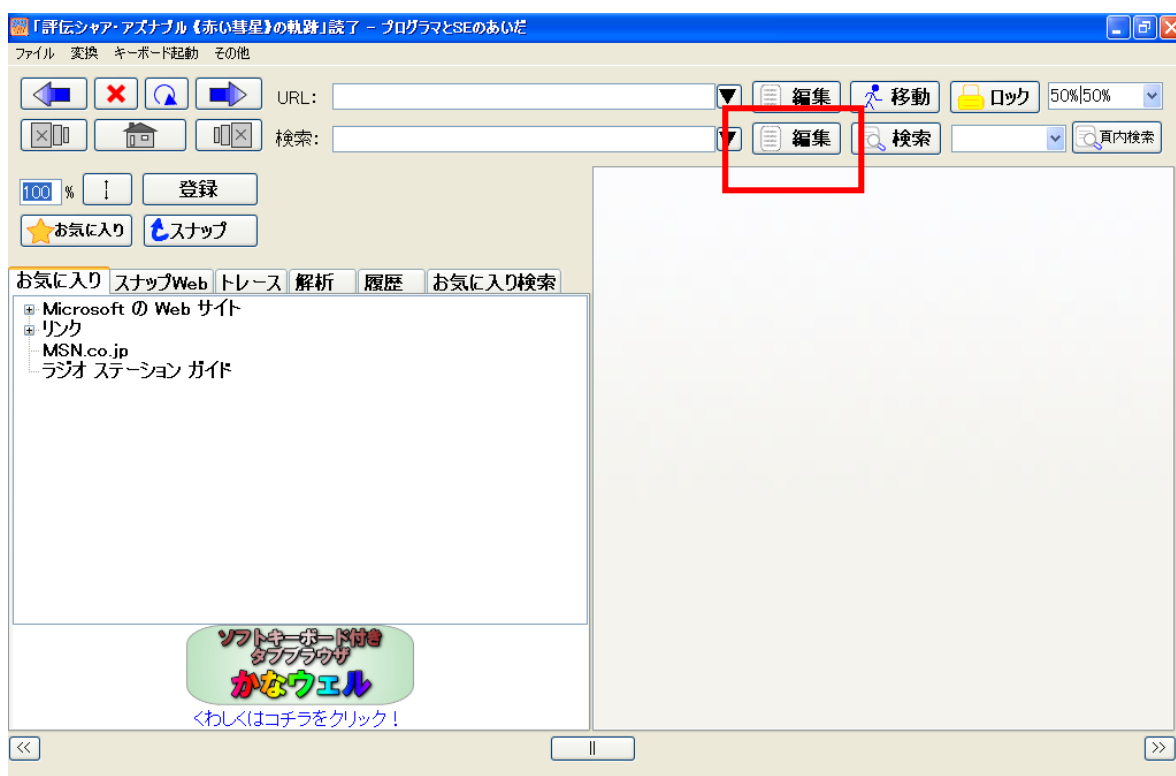
第１１節　　　　印刷してみよう

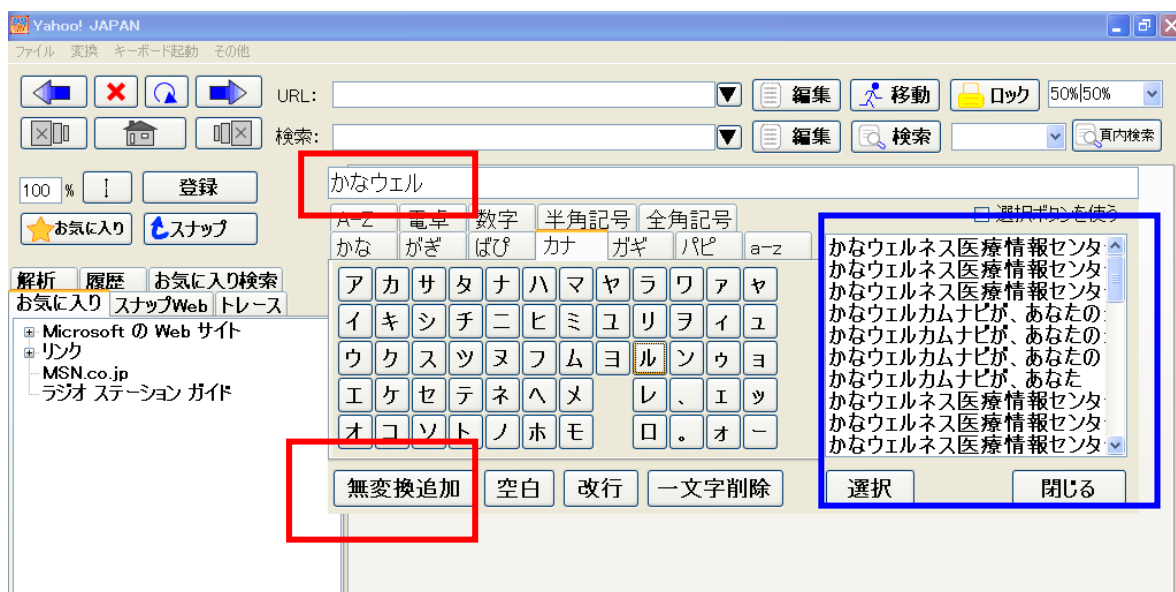
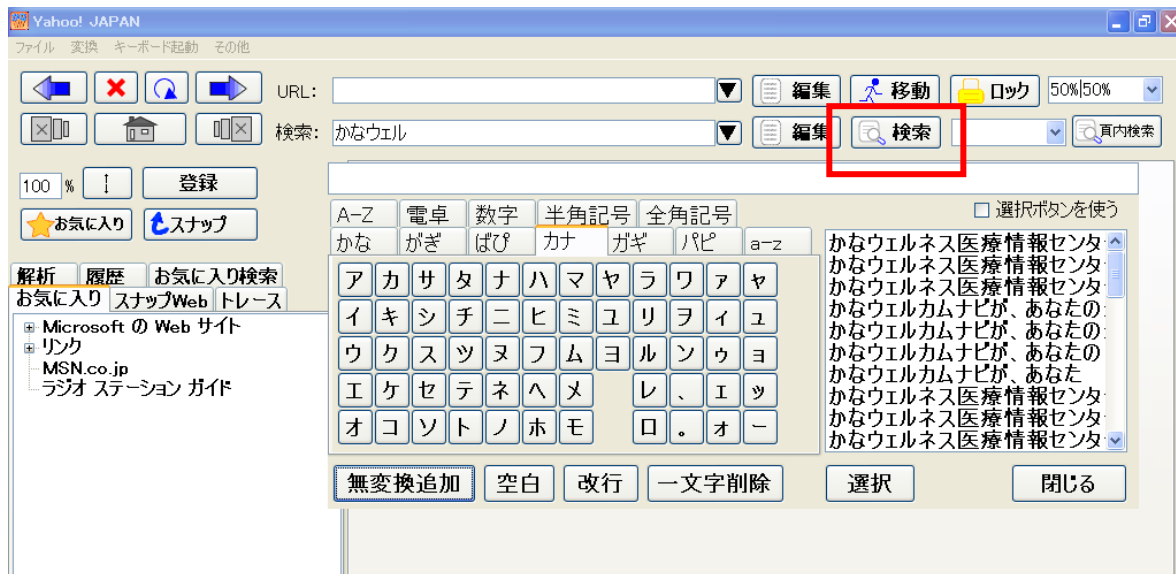
メニューの「ファイル」をクリックすると、「印刷」メニューがでます。
これをクリックすると、現在のタブの印刷ができます。

下図のように印刷プレビューが出ます。赤枠の「印刷ボタン」をクリックすると印刷されます。

第３章 かなウェルのソフトキーボード機能

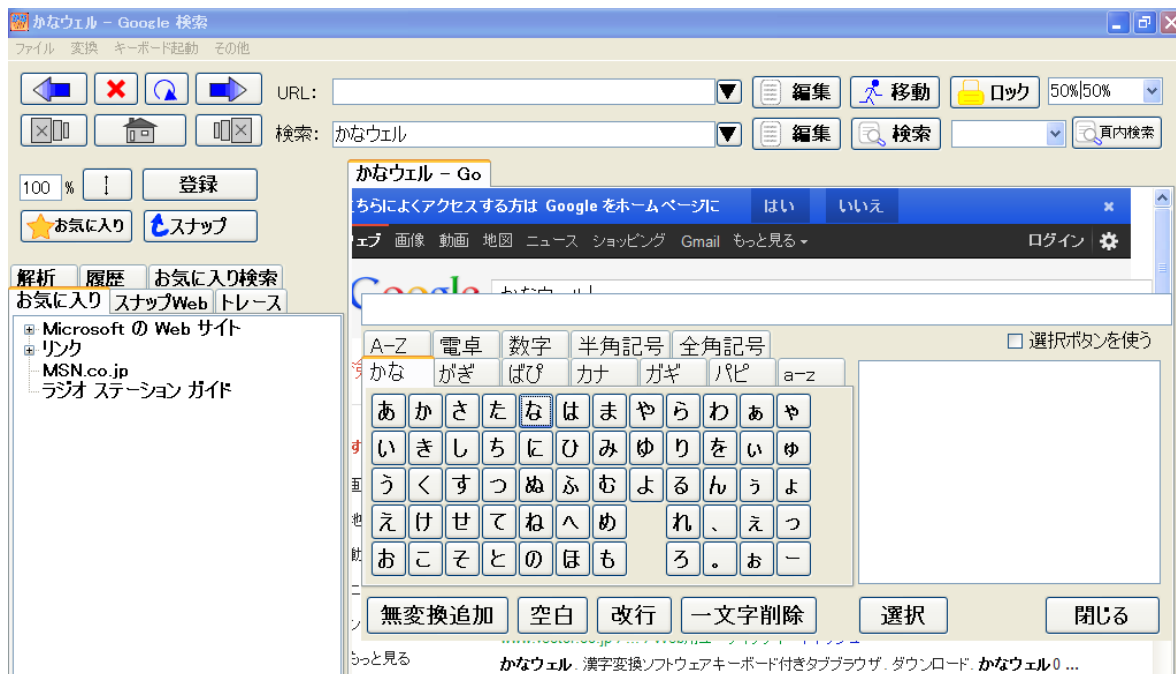
第１節　ソフトキーボードで、Google 検索してみよう。

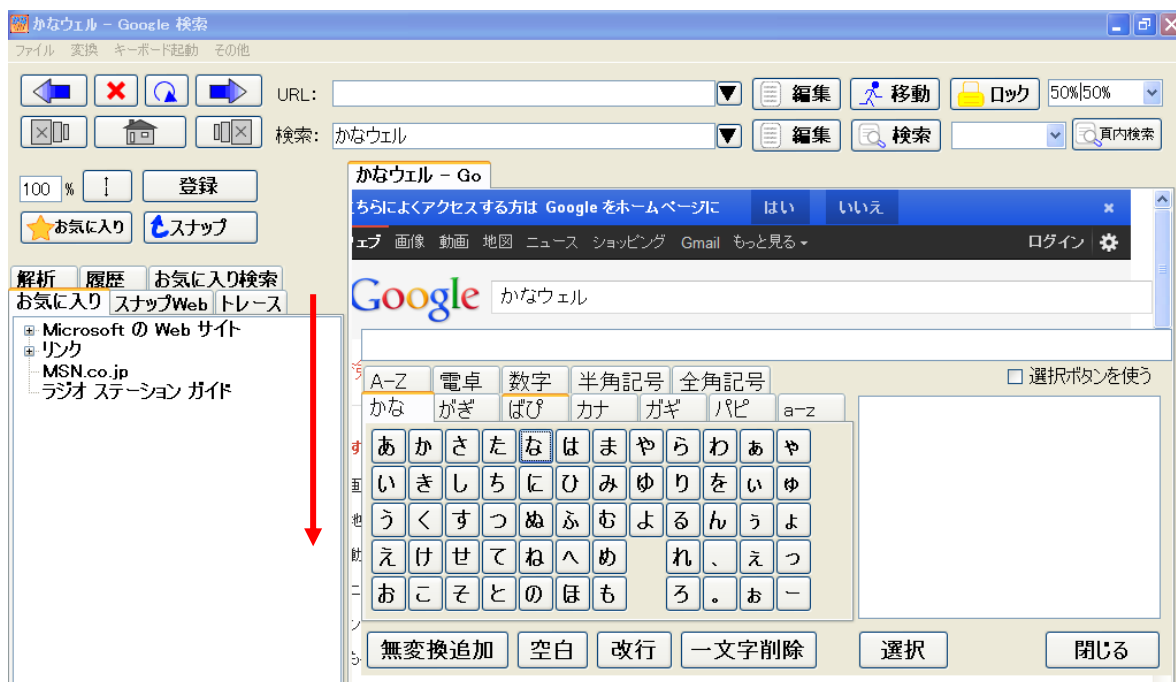
第 2 章第 2 節で Google 検索しましたが、これをソフトキーボードで行ってみます。

下図の赤枠の「編集」ボタンをクリックします。

すると、ソフトキーボードが表示されます。

「かなウェル」と入力してみます。ここでは変換候補（青枠）を指定せず、「無変換追加」をクリックします。

「検索：」入力ボックスに「かなウェル」の文字列が挿入されました。
最後に赤枠の「検索」ボタンをクリックします。

Google 検索結果が表示されました。

第２節　Web 画面にソフトキーボードで入力してみよう

Web 画面の入力ボックスをクリックしてみましょう。
すると下図のようにソフトキーボードが表示されます。

このままでは、入力ボックスがみにくいので、50 音（あ～ん）のボタンのどれかにカーソルを合わせ、マウスのホイールを回転させます。

すると、ソフトキーボードが上下に動き、隠れている Web 画面を見ることができます。

あとは、閉じるボタンをクリックします。
すると、ソフトキーボードが消えて、引き続き Web 画面の操作ができるようになります。

第３節　メニューで漢字変換の種類を設定しよう

ソフトキーボードの漢字変換はソーシャル IME と VJE という Web サービスを使って行っています。
さらに、それぞれ通常変換と予測変換の 2 種類が可能で、計 4 種類の漢字変換を行えます。

これはメニューでどの変換を使うか設定できます。

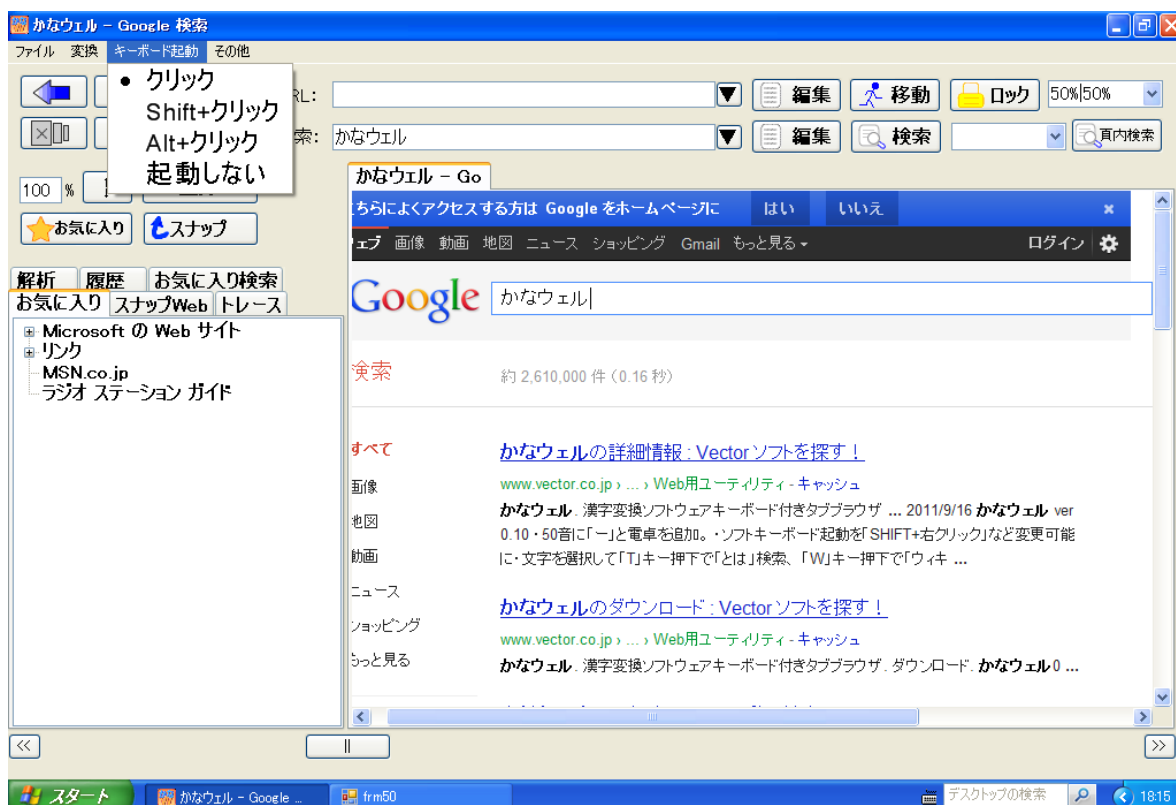
メニューの「変換」をクリックすると下図のようになります。

お好きな変換方法を選択して下さい。

なお、重複して選択もできます。
この場合、選択した漢字変換をすべて行います。

第４節　ソフトキーボードの起動方法を変更しよう

ソフトキーボードは Web 画面の入力ボックスをクリックすると起動しますが、この起動条件を変更できます。

メニューの「キーボード起動」クリックすると下図のようになります。

それぞれの条件でソフトキーボードが起動するようになります。
また、「起動しない」を選択すれば、起動しなくなります。

第４章 その他メニュー

第１節　アンケートにご協力ください。

メニューの「その他」をクリックすると、「かなウェルに関するアンケート」メニューが出てきます。

これをクリックすると、アンケート画面が開きます。

よろしければ、アンケートにご協力下さい。m（__'__）m